

(i)

第143回秋期大会

2022年11月11日(金)～13日(日) 東京工業大学大岡山キャンパス

主催 一般社団法人軽金属学会

後援 公益財団法人軽金属奨学会

協賛 一般社団法人日本アルミニウム協会、一般社団法人日本マグネシウム協会、一般社団法人日本チタン協会、一般社団法人日本塑性加工学会、公益社団法人日本鋳造工学会、一般社団法人軽金属溶接協会、公益社団法人日本金属学会、一般社団法人日本鉄鋼協会、公益社団法人日本材料学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人軽金属製品協会、公益社団法人自動車技術会、公益社団法人日本顕微鏡学会、一般社団法人溶接学会、一般社団法人粉体粉末冶金協会、一般社団法人資源・素材学会、日本バイオマテリアル学会、日本熱物性学会、日本航空宇宙学会(依頼中)

11日(金) 東京工業大学大岡山キャンパス(デジタル多目的ホール) 交通:東急大井町線・目黒線「大岡山」駅 徒歩1分

表彰式 軽金属論文賞・軽金属論文新人賞・小山田記念賞・高橋記念賞・軽金属躍進賞・軽金属奨励賞・軽金属女性未来賞
小山田記念賞受賞講演

市民フォーラム

レセプション・表彰式招待者歓迎会(会場未定)

12日(土), 13日(日) 東京工業大学大岡山キャンパス(西3号館, 西9号館ほか)

交通:東急大井町線・目黒線「大岡山」駅 徒歩1分

研究発表講演会

テーマセッション1 「カルシウム添加型マグネシウム合金展伸材創製のための最新技術開発(難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発11)」

テーマセッション2 「高強度アルミニウム合金」

軽金属奨学会「特別奨学生」セッション

ポスターセッション 12日(土)

軽金属躍進賞・軽金属奨励賞・軽金属女性未来賞受賞講演 12日(土), 13日(日)(一般講演セッション内で実施)

男女共同参画セッション 12日(土)

企業招待講演セッション・軽金属企業研究会 12日(土)

機器・カタログ展示 12日(土), 13日(日)

懇親会 12日(土) ホテル雅叙園東京 舞扇 交通:目黒駅(JR山手線西口, 東急目黒線, 地下鉄南北線・三田線)より徒歩3分

※新型コロナウイルス感染拡大状況や開催校の状況によってはハイブリッド開催やオンライン開催となることもあります。最新情報については、随時、HP等でご案内します。

第143回秋期大会 参加申込

大会参加費(消費税込, 参加申込の方には講演概要集のカラーデジタル版を配布します。冊子版(モノクロ)希望者は別途, 購入してください)

	正会員	学生会員	非会員
第1期事前申込	8,000円	3,000円	12,000円
第2期事前申込	9,000円	4,000円	12,000円

(軽金属学会維持委員会社社員, 協賛学協会個人会員の方は会員扱い)

・申込の会員は, 会員マイページより大会1か月前からカラーデジタル版概要集を無期限でダウンロード可能です。維持会員, 協賛学協会個人会員, 非会員の参加者にはID, パスワードを発行し, ダウンロードサイトから入手可能としますが, ダウンロード期間は大会終了後2週間までとなります。ただし, いずれも参加費の入金確認後でないとダウンロードできません。混雑を避けるため, 当日の参加申込受付はせず, 事前申込を2期に分けて(第2期はクレジット決済のみ) 受け付けることにしました。

大会参加申込方法

軽金属学会ホームページ: <http://www.jilm.or.jp/>「第143回大会」ページで受付ています。個人会員の方は会員マイページにログインしてから参加申込してください。マイページの大会参加履歴(概要集ダウンロード)メニューから領収書発行, 概要集ダウンロードが可能です。また, 申込時に会員情報が自動入力されます。

懇親会費(消費税込)

	正会員	学生会員	非会員
第1期事前申込	10,000円	5,000円	12,000円
第2期事前申込	12,000円	6,000円	12,000円

(軽金属学会維持委員会社社員, 協賛学協会個人会員の方は会員扱い)

大会参加費支払方法

第1期: 申込と支払方法選択(クレジット決済も可能)が完了すると, 受付No., 振込先等を明記した「第143回秋期大会 参加申込受付メール」が送信されるので, クレジット決済以外の方はその内容に従って参加費の振込みをお願いします。参加費の請求書あるいは領収書(入金確認後, 請求書から領収書に切り替わります)は会員マイページから入手いただけます。参加費支払は10月7日までにお願いします。

第2期: 参加費の支払いはクレジット決済のみ受け付けます。第1期同様, 参加費の領収書は会員マイページから入手いただけます。

第1期事前申込締切: 2022年10月7日(金)

第2期事前申込締切: 2022年11月4日(金)

大会会期中の総合受付での参加申込受付は行いませんので, 必ず, 事前申込をお願いします。

・大会プログラムは, 軽金属学会ホームページならびに「軽金属」9月号に掲載します。

概要集冊子版(消費税込, 送料別 ※冊子版はモノクロ印刷)

定価	会員価格
12,000円	9,000円

・概要集の冊子版もご希望の方は軽金属学会ホームページの「刊行物・資料」-「学術図書類」-「その他の出版物」から購入ください。大会会期中は限定10部を12,000円で販売します。

・概要集電子版のUSBメモリ販売もしています。上記ホームページから購入ください。定価13,000円, 会員価格10,000円。

第143回秋期大会講演募集

講演申込締切 2022年7月14日(木)23:59までにweb申込
 概要集原稿締切 2022年9月5日(月)13:00 事務局必着
 概要集印刷発行日 2022年10月11日

発表資格：発表者は本学会会員に限ります。非会員の方は、軽金属学会ホームページの新規入会申請を利用しWEB入会手続きをお願いします。講演大会参加費の支払を必須とします。

講演内容：講演は原則として未発表のもので論文としてまとめたもの

講演形式：口頭発表（一般セッション、テーマセッション）、またはポスター発表（ポスターセッション）

概要原稿：海外からの参加者にも発表内容が伝わるよう、英文ABSTRACT(100 words)、図表および図表のキャプションは英文表記。詳細は「概要原稿の書き方」を参照

発表方法：(1) 口頭発表

- ①講演時間は、原則として、発表15分、討論5分
- ②プロジェクトのみ用意。PCは発表者が持参。HDMI接続の場合は変換アダプタを持参
- ③英語での発表も可能

申込方法：同一発表者による複数の口頭発表が可能です。ポスター発表は1人1件に限ります。

軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>から申込

- (1) マイページにログインした後、ホームページの「イベント」-「講演大会」-「募集中の大会」をクリック（マイページにログインしないと講演申込ボタンが表示されない）。
- (2) 「講演申込」画面の内容に従い、講演申込を行う。
- (3) 講演形式を、口頭発表/ポスター発表（日本語）/ポスター発表（英語）/口頭発表・日本語ポスターのどちらでもよい/テーマセッション/奨学会セッション から選択する。口頭発表・日本語ポスターのどちらでもよいを選択した場合は、続いて講演分類を選択する。テーマセッションはT1、T2から選択する。
- (4) 学生は申込時の学年（B：高専、専攻科，B4，M1，M2，D1，D2，D3，PD：博士研究員）表記とする。
- (5) 続いて大会参加予約申込をする。複数発表の場合も講演申込ごとと大会参加予約申込をする。但し、参加費の支払は1件分のみ。
- (6) 申込が完了すると、受付No.を明記した「第143回秋期大会 講演申込受付メール」、参加申込受付No.、振込先等を明記した「第143回秋期大会 参加申込受付メール」が送信される。
- (7) 講演申込内容は申込締切日までは会員マイページの「大会 講演履歴」ページで修正可能。

※講演発表に伴い入会される方は、軽金属学会ホームページからWEB入会申請してください。会員マイページを使い講演申込・参加申込手続きをするにあたり、会員マイページの利用開始は、本年度分会費の入金を確認、入会承認後となるため、余裕をもって入会申請するをお願いします。

※大分類（対象材料）および5つの小分類（用途、現象、検出・解析方法、目的、材料形状）からそれぞれ該当するものを選択ください。従来と異なる切り口でのプログラム編成を考えています。

※ポスターセッション充実の目的は、口頭発表によるパラレルセッションを可能な限り解消するためであり、50件程度のポスター発表を見込んでいます。右側のポスター発表実施要領をご覧ください

い。多くのポスター発表申込を期待しています。

大会参加申込：

一般講演、テーマセッション、ポスターセッションの発表者は、講演申込と同時に参加申込いただきます。大会参加費はクレジット決済、郵便振替または現金書留で10月7日(金)までにお支払いください。

※講演申込と同時に参加申込ができるようになりましたので、講演申込は必ず発表者が行ってください。

問合せ先：一般社団法人軽金属学会 事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル6階

Tel: 03-3538-0232 Fax: 03-3538-0226 E-mail: shomu@jilm.or.jp

ポスター発表実施要領

軽金属学会講演大会のポスターセッションを充実させています。

- *優秀ポスター発表賞、優秀英語ポスター発表賞の受賞は各々1回を限度とする。1度優秀ポスター発表賞を受賞した方は、英語ポスター発表、あるいは口頭発表の申込をお願いします。
- *講演大会の国際化の一環として、英語で質疑応答を行う、英語ポスター発表枠を新設（国籍は問わない）
- *優秀ポスター発表賞および優秀英語ポスター発表賞受賞者を軽金属学会会長名で表彰
- *大会翌日以降、軽金属学会ホームページに表彰者を掲示
- *表彰者を学会誌「軽金属」および「学会ホームページ」に写真入りで紹介
- *協賛団体である一般社団法人軽金属溶接協会により優秀な溶接・接合関連のポスター発表を同時に審査、軽金属溶接協会会長名で表彰
- *学界、業界を問わず、35歳以下の正会員からのポスター発表も表彰の対象

実施方法

- (1) 対象者：正会員、学生会員の希望者。ただし、同一発表者による複数のポスター発表はできない。
- (2) 口頭発表と同様、概要原稿を提出する。英語ポスター発表者の概要原稿本文は和文、英文を問わない。
- (3) パネル1枚を予定。ポスターサイズはA0版（幅841mm×高さ1189mm）が標準。パネルの前に机は置けない。
- (4) ポスターは軽金属学会ホームページ掲載の「ポスター作成マニュアル」に従って作成する。
 - ①ポスターは、表題には英文表題を並記
 - ②図表および図表のタイトルは英文表記
 - ③ポスター右肩にポスター番号P〇〇を表記
 - ④英語ポスター発表はすべて英語表記
- (5) 2部制で開催し在席時間は1時間。ポスターは9:30から12:00までに掲示を済ませ、翌日12:00まで展示。15:00以降に残っているポスターは撤去する。

テーマセッション講演募集

下記のテーマセッションでの講演を申込むと、世話人が基調講演と一般講演をプログラム編成し、座長を選任し、充実した討論を通じて参加者相互の実りある情報交換の場を提供します。7月下旬に開催されるプログラム編成会議の前に、世話人に開催日、時間、座長、講演順番など、プログラム編成を依頼します。

(iii)

テーマセッション1 「カルシウム添加型マグネシウム合金展伸材創製のための最新技術開発（難燃性マグネシウム合金展伸材創製のための最新技術開発11）」

Latest technology development on wrought magnesium alloys with calcium addition (Latest technology development on flame-retardant wrought magnesium alloys for manufacturing structural parts 11)

趣 旨：

Mg-Al合金にカルシウムを添加した「難燃性マグネシウム合金」は、優れた難燃性を有するため、高い安全性が必要とされる鉄道車両構体等への適用が検討されている。また、Mg-Zn合金に微量のカルシウムを添加した合金は、優れた室温成形性を有するため、高いプレス成形性が必要とされる自動車構造部材等への適用が検討されている。第127～140回大会では、「難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発1～10」が企画され、難燃性マグネシウム合金を始めとする、カルシウム添加型マグネシウム合金展伸材の最新研究開発について、活発な議論が行われた。本テーマセッションにおいても、当該合金展伸材の最新の研究成果を広く募り、討論を通じて、今後の方向性を継続的に探る。

世話人： 榎 学（東京大学）、宮下 幸雄、中田 大貴（長岡技術科学大学）、向井 敏司（神戸大学）、瀧川 順庸（大阪公立大学）、濱田 繁（九州大学）、清水 和紀（三協立山株式会社）、城戸 太司（不二ライトメタル株式会社）、山崎 一正、佐藤 雅彦（日本金属株式会社）、山田 晃司（大日本塗料株式会社）、小崎 匠（日本パーカラライジング株式会社）、石川 武（株式会社総合車両製作所）、田口 真（川崎重工業株式会社）、高山 亮平（株式会社TCD）、森 久史（株式会社UACJ）、行武 栄太郎（茨城県産業技術イノベーションセンター）、駒井 浩（日本マグネシウム協会）、伊藤 海太、佐々木 泰祐（物質・材料研究機構）、千野 靖正、斎藤 尚文、中津川 勲（産業技術総合研究所）、堀谷 貴雄（ISMA）

テーマセッション2 「高強度アルミニウム合金」

High-strength aluminum alloys

趣 旨：

持続可能で豊かな社会の実現のためには、材料の製造から消費、リサイクルにわたる工程全体での環境負荷低減が求められている。アルミニウム合金の高強度化は、輸送機器その他への応用を通じて、環境負荷低減を実現するための一つの重要な手段である。高強度化の手法については、近年様々な新しいアプローチが試みられており、軽金属学会においても、「高強度アルミニウム合金研究部会」で、共通試料を用いた研究の実施、情報共有、意見交換を行っている。本テーマセッションでは、アルミニウム合金の高強度化に関する合金設計・プロセス技術、高強度アルミニウム合金の実用的な機械的特性評価、高強度化機構の解析技術などに関する最新の研究成果を広く募り、討論を通じて、高強度アルミニウム合金に関する課題を明確化して今後の研究の方向性を探りたい。

世話人：倉本 繁（茨城大学）

軽金属奨学会「特別奨学生」セッション

第141回大会より、公益財団法人軽金属奨学会との共催により、軽金属奨学会「特別奨学生」セッションを定期的実施する。軽金属奨学会では、軽金属学術界の人材育成のため、軽金属に関する教育機関に在学する有為の学生に対し、研究に専念する時間を与え、創造性に富んだ研究者を育成することを目的に学費および研究費を交付している。本セッションでは特別奨学生の研究成果を発表するとともに、特別奨学生制度の紹介も行うので、軽金属学会会員、とりわけ、博士課程を目指す学生会員の聴講を期待する。

参加費の振込みについてお願い

事務局での入金確認のため、申込者ご本人以外、例えば、大学、企業等から参加費を銀行振込みされる場合は、必ず、①申込者名および申込受付No.、②振込日、③振込金額、をFax：03-3538-0226またはE-mail：shomu@jilm.or.jpにご連絡ください。ご協力を宜しくお願いします。